

奈良西ロータリークラブ会長

有馬 康明さん(68)

国際ロータリーの青少年奉仕関係の常設プログラムには、インタラクティブ(12〜18歳)、ロータリーアクト(19〜30歳)、RYLA、青少年交換の四つがある。

ロータリークラブは1905年、米シカゴで

# 歴史のある交換事業

## ロータリーの5月は青少年奉仕月間

設立後早い段階から障害児支援などを行っていたらしい。29年には、米とデンマーク・コペンハーゲンのロータリーアンの子弟を相互で預かる事業を開始。これが青少年交換の端緒とされる。

59年の豪クイーンランド州の自治権獲得100周年事業には、英国女王が臨席。同世代の青年たちと女王の語らいの場が設けられた。この内容が素晴らしく、同様の取り組みの継続のために、青少年指導者養成のRYLAが立ち上げられた。

さらに62年には「世界中の青少年が共に活動で



中学校での授業協力で奈良西ロータリークラブから感謝状が贈られた派遣講師＝4月26日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル

きるような組織」を創立する試みが胎動。当時の国際ロータリー会長のハロルド・トーマス氏の呼び掛けでインタラクティブクラブが誕生した。

このあと68年にはロータリーアクトクラブも始動。インタラクティブが高校生までで終了するため、学んだことを生かせるプログラムとして考案されたものだった。